

令和3年度中井町食品ロス実態調査報告書

(1) 実施概要

■実施日時	令和4年3月17日（木）
■作業場所	大井町剪定枝破砕場
■作業時間	8:30～16:00（昼食休憩1時間、準備片付け含む）
■作業員	中井町職員4名 大井町職員1名 松田町職員1名
■調査対象	・2地域 ①境地区 ②中村地区
■調査試料	・2地区の可燃ごみ（サンプリング試料 約383.69kg） ・サンプリング試料から食品廃棄物（約135.34kg）を抽出、細組成調査を行う。

(2) 調査結果

1) 試料中の食品廃棄物の割合

調査対象とした試料について（図表1）、2地域の合計で128袋、384kg、1袋あたりの平均重量は3.0kgであった。地域別に見ると、①境地区が60袋、188kg、②中村地が68袋、196kgであった。

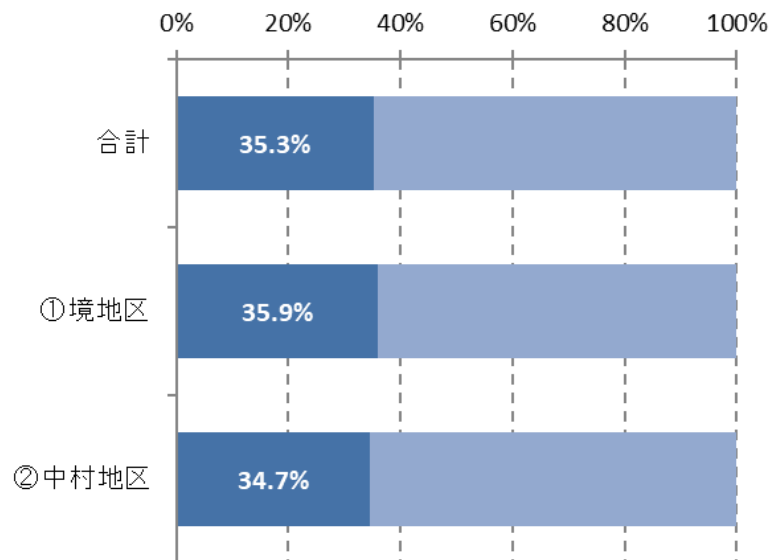
図表1 調査対象とした試料概要（中井町）

	袋数(個)	重量(kg)	容量(L)	袋あたり	
				重量(kg)	容量(L)
合計	128	383.7	4980	3.0	38.9
① 境地区	60	187.7	2325	3.1	38.8
② 中村地区	68	196.0	2655	2.9	39.0

※合計は、2地区の調査結果を足して算出したもの

試料中の食品廃棄物の割合について（図表 2）、2 地域の合計では 35.3%、地域別に見ると①境地区が 35.9%、②中村地区が 34.7%となっている。

図表 2 試料中の食品廃棄物の割合（中井町）



(単位:kg)

	サンプリング試料 A	うち、食品廃棄物 B	食品廃棄物割合 C (=B/A)	食品廃棄物以外 D (=1-C)
合計	383.69	135.34	35.3%	64.7%
①境地区	187.68	67.40	35.9%	64.1%
②中村地区	196.01	67.94	34.7%	65.3%

※合計は、2 地区の調査結果を足して算出したもの

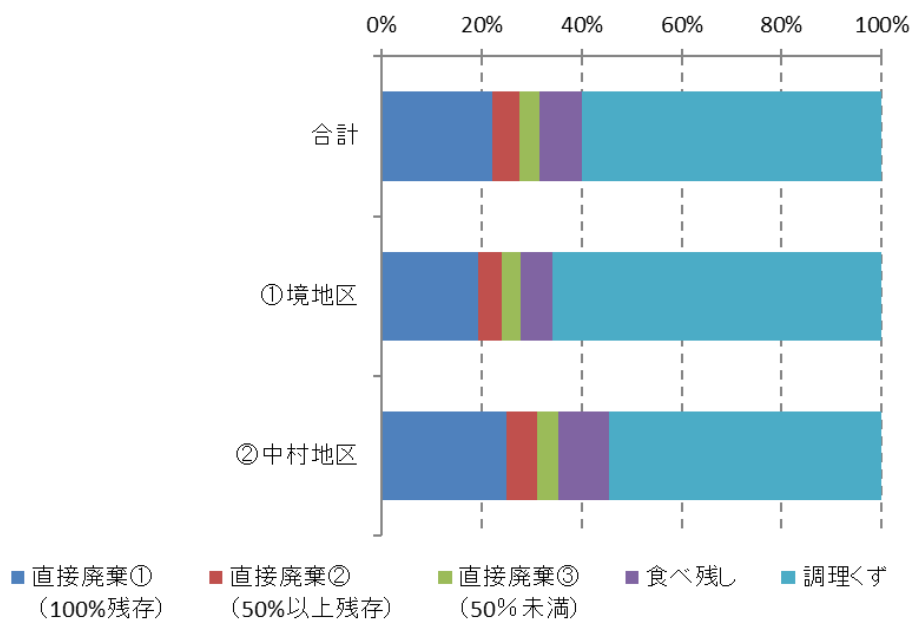
2) 食品ロス（直接廃棄、食べ残し）の割合

食品廃棄物のうち、調理くずを除く、直接廃棄及び食べ残しを食品ロスとする。
食品廃棄物のうち食品ロスの重量割合について（図表3）、2地域の合計では40.0%、地域別に見ると①境地区が34.3%、②中村地区が45.6%となっている。

直接廃棄に着目すると、2地区の合計では、まったく手付かずの直接廃棄（100%残存）は、食品廃棄物のうち22.2%を占めており、①境地区で19.4%、②中村地区が25.1%となっている。

同様に、食べ残しに着目すると、2地区の合計では8.3%、①境地区が6.4%、②中村地区が10.2%となっている。

図表3 食品ロス（直接廃棄、食べ残し）の割合（中井町）



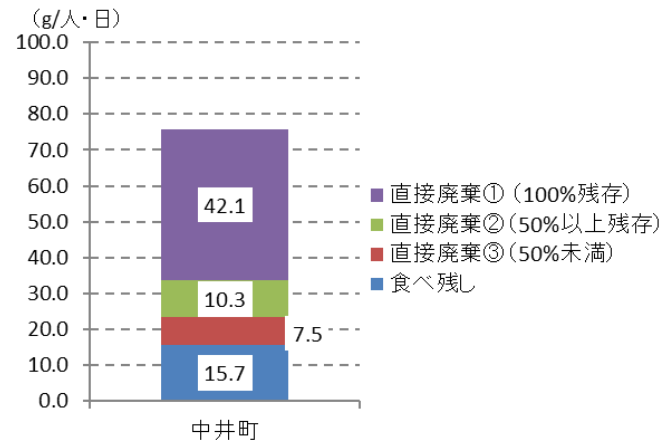
	食品ロス割合	うち直接廃棄（手付かず）			うち食べ残し
		100%残存	50%以上残存	50%未満残存	
合計	40.0%	22.2%	5.5%	4.0%	8.3%
①境地区	34.3%	19.4%	4.7%	3.7%	6.4%
②中村地区	45.6%	25.1%	6.2%	4.2%	10.2%

※合計は、2地区の調査結果を足して算出したもの。いずれも重量ベース。

3) 1人1日あたりの食品ロス発生量

- 調査結果を踏まえて、1人1日あたりの食品ロス発生量を推計すると 75.7g/人・日となり、その内訳を見ると直接廃棄（手付かず、100%）が42.1g/人・日、食べ残しが15.7g/人・日と推計された。

図表 4 1人1日あたりの食品ロス発生量（中井町）



4) 調査写真

①境地区

直接廃棄（100%）



②中村地区

直接廃棄（100%）



直接廃棄（50%以上）



直接廃棄（50%以上）

